

県が医大に期待すること

持続可能な経営基盤を維持し、最高の医学と最善の医療をもって地域の安心と社会の発展に貢献する。

第4期中期目標の2本柱（イメージ）

1. 地域の安心と社会の発展への貢献

教 育

- <質の高い医療人の育成>
 - ・地域に貢献する医療人の県内定着
 - ・教育の質の向上
 - ・学生への支援の推進
- <主な取組>
 - ・地域医療を支える人材の確保
 - ・教育内容の充実
 - ・教員の教育能力向上と教育の質の保証
 - ・教育実施体制の充実
 - ・学生支援の充実

研 究

- <最先端の研究の実施>
 - ・研究力の向上
 - ・研究成果の還元
- <主な取組>
 - ・最善の医療に貢献する最先端の研究の実施
 - ・研究成果還元による県民への健康増進及び医学・看護学等の発展への貢献

診 療

- <最善の医療の提供>
 - ・県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践
 - ・県内基幹病院としての機能の充実
 - ・地域医療提供体制の強化
- <主な取組>
 - ・救急・災害・周産期・小児・新興感染症医療体制の強化
 - ・高度医療・先進医療の推進
 - ・医療安全体制の確立
 - ・患者主体の医療の提供
 - ・病院運営の効率化・健全化
 - ・医療費適正化の推進
 - ・医師の散在・偏在の解消
 - ・地域医療を支える人材の育成・確保
 - ・地域医療機関との連携強化

2. 安定した法人運営

- <持続可能で安定的な法人運営>
 - ・業務運営の改善及び効率化
 - ・財務内容の改善
 - ・業務運営に関する自己点検・評価及び情報発信
 - ・その他の業務運営に関する重要項目
- <主な取組>
 - ・業務運営の改善及び業務の効率化
 - ・経営基盤の強化
 - ・業務運営に関する自己点検・評価及び情報発信
 - ・施設・設備の整備・活用
 - ・安全管理等に関する体制強化
 - ・ガバナンス体制の充実
 - ・優秀な人材の確保と育成